

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（グローバル展開プログラム）
研究テーマ公募型研究テーマ 研究概要

課題

グローバル社会における排他主義とデモクラシーに関する総合的研究

研究テーマ名

「難民危機」の時代におけるレイシズムの変容とその克服策に関する国際比較研究

責任機関

国立大学法人神戸大学

研究実施期間

平成29年2月～平成31年9月

研究プロジェクトチームの体制

研究代表者等の別	氏名	所属機関・部局・職名
研究代表者	飯田 文雄	神戸大学・大学院法学研究科・教授
研究分担者	渋谷 謙次郎	神戸大学・大学院法学研究科・教授
研究分担者	津田 由美子	関西大学・法学部・教授
研究分担者	網谷 龍介	津田塾大学・学芸学部・教授
理論分析担当 グループリーダー	辻 康夫	北海道大学・大学院公共政策学連携研究部・教授
研究分担者	早川 誠	立正大学・法学部・教授
歴史分析担当 グループリーダー	月村 太郎	同志社大学・政策学部・教授
研究分担者	浪岡 新太郎	明治学院大学・国際学部・准教授
研究分担者	塩川 伸明	東京大学・法学政治学研究科・名誉教授
研究分担者	西山 隆行	成蹊大学・法学部・教授

配分（予定）額

（単位：円）

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
3,328,000円	9,393,020円	5,452,200円	4,352,400円

※平成29年度・平成30年度・平成31年度については予定額

研究目的の概要

難民危機以降における日米欧各国のレイシズムの具体的な変容や、それに対する各国の対応

策にみられる特質について、各国の難民危機以降の事例相互や、各国の2000年以降の歴史的事例との比較研究を行うことにより、現代民主主義の安定的発展を可能にするレイシズムへの対応策を検討する。

研究計画の概要

政治哲学と政治史学の先行研究を踏まえて、難民・レイシズム問題の分析に有益な分析枠組みを構築すると同時に、難民危機以降の日米欧各国におけるレイシズムとその対応策の変容を、ヘイトスピーチと国粋主義的政党活動の事例を素材に、現地調査を通じて明らかにする。